### 京都市立洛北中学校校舎増築その他工事設計業務委託に係る公募型簡易プロポーザル

## 評価要領

本評価要領は、京都市立洛北中学校校舎増築その他工事設計業務委託の実施に当たり、最適な実施体制の確保及び課題に対する技術提案が可能な企業等を選定するため、その評価の基準を定める。

## 1 評価基準

評価の項目、配点及び基準は、別表による。なお、提出書類において事実確認ができない項目については0点とすることがある。提出書類については「技術提案書等の作成に関する説明書」を参照すること。

### 2 同種業務について

同種業務とは、平成26年度以降に、学校教育法第1条に規定する学校の新築、改築又は増築に係る基本設計及び実施設計又はそのどちらかの業務(本公募を開始した日の前日までに完了したものに限る。)を元請として受注した実績とする。

- ※1 設計・施工一括発注方式又はPFIにおける実績については、代表となる設計者として建築基準法第6条第1項又は第18条第3項に掲げる確認済証を取得した実績が確認できるものに限る。
- ※2 共同企業体における実績については、代表者として受注した実績とする。
- ※3 増築及び改築にあっては、増築及び改築部分の床面積の合計とする。
- ※4 敷地内に複数の建築物がある場合、又は用途が複合する建築物の場合は、同種業務に該当する部分の床面積の合計とする。

#### (別表)

# 評 価 基 準

書類審査
【100点】

1 設計事務所の評価

【 6点】

改					
評価項目	評価事項	評価		配点	満点
①所在地	地 本店の所在地**1		本店所在地が京都市内	2	2
	平的切別往地***	地**1     A 本店所在地が京都市内       B 本店所在地が京都市外       A 1事故当たりの保険金額が5千万円以上の保険加入       B A又はC以外       C 保険未加入       の成績**2   A 本店所在地が京都市内 A 70点以上 B 65点以上70点未満	0		
	担保力 損害賠償保険の加 入状況	Δ	1事故当たりの保険金額が5千万	9	2
②瑕疵担保力		Λ	円以上の保険加入	4	
		В	A又はC以外	1	<u> </u>
		С	保険未加入	0	
③業務成績	成績 過去5年間の成績 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	Α	70点以上	2	
		В	6 5 点以上 7 0 点未満	1	2
		一一一一一一一 C	С	実績なし	0

- ※1 本店の所在地は、公募開始日の前日時点で、京都市契約事務規則第4条第2項に規定する一般競争入札有資格者名簿(京都市競争入札参加有資格者名簿(測量・設計等)における登録種目が建築設計であるもの)で判断する。
- ※2 本評価項目については、令和2年度以降に本市と直接契約(設計変更契約を含まない。) し、令和6年度までに完了した設計業務委託のうち、都市計画局公共建築部が完了検査を実施 したものに関する成績評定の平均値について、少数点以下第一位を切り捨て、整数で評価す る。ただし、対象となる受注実績がない場合は、C評価として取り扱う。

## 2 管理技術者の実績等

【 18点】

評価項目	評価事項		評価	配点	満点
①業務実	日任业社。十分从中位	Α	1,000 ㎡以上	4	
績の参考	同種業務の有益な実績  ・工事部分の延べ面積	В	上記以外	2	4
度		С	実績なし	0	
②業務実 績の参考 度	本業務の実施に当たり有益な実績、本業務への参考度(ただし、用途は学校に限らない) ・景観への配慮 ・建築物の高さの限度を超える計画について許認可を受けた実績	A	非常に参考になる	4	
		В	参考になる	2	4
		С	普通	1	4
		D	参考にならない又は実績 なし	0	
③業務実 績の参考 度	平成26年度以降の有益な実績(ただし、用途は学校に限らない) ・一次エネルギー消費量基準	Α	BEI ≤ 0.5	4	
		В	0.5 <bei≦0.6< td=""><td>3</td><td rowspan="3">4</td></bei≦0.6<>	3	4
		С	0.6 <bei≦0.8< td=""><td>1</td></bei≦0.8<>	1	
		D	0.8 <bei td="" 又は実績なし<=""><td>0</td></bei>	0	
4 C P D		Α	12単位以上	2	
の取得状	指定期間内における単位取得数	В	6 単位以上12単位未満	1	2
況		С	6 単位未満	0	
⑤業務繁 忙度	委託期間内に従事する他業務の件数	Α	1件以下	4	
		В	2件	2	4
		С	3件以上	0	

# 3 設計担当主任技術者の実績等

【 18点】

評価項目	評価事項		評価	配点	満点
①業務実		A	1,000 ㎡以上	4	
績の参考	同種業務の有益な実績  ・工事部分の延べ面積	В	上記以外	2	4
度	工事即为少是一面俱	С	実績なし	0	
	本業務の実施に当たり有益な実績、本	A	非常に参考になる	4	
②業務実	業務への参考度(ただし、用途は学校	В	参考になる	2	
金米粉美績の参考度	に限らない) ・景観への配慮 ・建築物の高さの限度を超える計画 について許認可を受けた実績	С	普通	1	4
		D	参考にならない又は実績 なし	0	
③業務実	平成26年度以降の有益な実績(ただ	A	BEI ≦0.5	4	
横の参考	し、用途は学校に限らない)	В	0.5 <bei≦0.6< td=""><td>3</td><td>4</td></bei≦0.6<>	3	4
度	・一次エネルギー消費量基準	С	0.6 <bei≦0.8< td=""><td>1</td><td>1</td></bei≦0.8<>	1	1
	八 7/2 1 10 東重盃平	D	0.8 <bei td="" 又は実績なし<=""><td>0</td><td></td></bei>	0	
(4) C P D		Α	12単位以上	2	
の取得状	指定期間内における単位取得数	В	6 単位以上12単位未満	1	2
況		С	6 単位未満	0	
⑤業務繁		Α	1件以下	4	
じ業務繁忙度	委託期間内に従事する他業務の件数	В	2件	2	4
		С	3件以上	0	

## 4 業務実施の方針、体制等

【 50点】

	3 年 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市				海上 ////
評価項目	評価事項		評価	配点	満点
①設計コ ンセプト	・「京都市立洛北中学校整備工事 基本計画説明書」を踏まえ、既存校舎とのつながりや多様な学校形態の変化に配慮し、可変性及び利便性の向上に関する設計方針や考え方・その他教育環境の向上に資する空間に関する設計方針や考え方	A	極めて評価できる	2 0	
		В	評価できる	1 5	
		С	普通	1 0	2 0
		D	やや評価できない	5	
		Е	評価できない	0	
②業務の 進め方	ZEB Ready 相当以上の実現、及び建築物の高さに係る許認可等を踏まえた業務体制及び業務の進め方・業務の目的、条件、内容の理解度・業務実施の手順、工程、フロー等の妥当性・体制の妥当性(チームの特徴、担当者数、責任の所在等)・設計コンセプトとの整合性	А	極めて評価できる	2 0	
		В	評価できる	1 5	
		С	普通	1 0	2 0
		D	やや評価できない	5	
		Е	評価できない	0	
③教育環 境への配 慮	・工事中の騒音・生徒動線等という教育環境への負担を軽減する設計方針や考え方	Α	極めて評価できる	1 0	
		В	評価できる	8	
		С	普通	5	1 0
		D	やや評価できない	3	
		Е	評価できない	0	

5 見積金額 【 8点】

評価項目	評価基準		満点
見積金額	A= 最低金額 <sup>※3</sup> 以上、(最低金額+(概算予定価格-最低金額)×1/5) 未満	8	
	B= (最低金額 <sup>※3</sup> +((概算予定価格-最低金額)×1/5)以上、(最低金額+((概算予定価格額-最低金額)×2/5)未満	6	
	C=(最低金額 <sup>※3</sup> +((概算予定価格-最低金額)×2/5)以上、(最低金額+((概算 予定価格-最低金額)×3/5)未満	4	8
	D= (最低金額 <sup>×3</sup> +((概算予定価格額-最低金額)×3/5) 以上、(最低金額+((概算予定価格-最低金額)×4/5) 未満	2	
	E=(最低金額 <sup>※3</sup> +((概算予定価格-最低金額)×4/5)以上、(概算予定価格以下	0	

※3 最低金額は、本件プロポーザル参加者から提案があった見積金額のうち一番低い金額とする。ただし、参加者の提案した見積金額が、予算上限額から以下に掲げる算出方法により算出した金額を下回るときは、当該最低価格を採用する。

最低価格:直接人件費+特別経費+技術料等経費×60%+諸経費×60%(端数処理は行わない)